

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年1月23日）

1 主な報告等

(1) 令和6年度留置施設に対する実地監査結果について

委員から、警察署留置施設における被留置者等の処遇について、署長を始め各幹部から看守勤務員に対し、個別具体的な指示がなされたり、実地監査結果による指摘・指導事項についても早期に改善が図られるなど、きめ細やかな留置事故防止対策が取られていることを評価する。日頃から定められた規則・ルールに従って留置業務が行われているかどうかを、きちんと点検・確認して業務管理することが大変重要である。留置業務は負担の大きな業務であることから、看守担当員の健康管理と士気高揚に努めていただきたい旨の発言があった。

(2) 年末・年始総合警戒の実施結果について

委員から、地域の実情や特性に応じて各種事件・事故防止のための広報啓発活動が行われたことを評価する。高齢者世帯等に対し、特殊詐欺等の被害に遭わないよう電話に出ない対策は、今後の抑止効果が期待できる。年末・年始総合警戒期間中に実施した各種取組の効果について検証し、今後の取組に活かしていただきたい旨の発言があった。

(3) 「110番の日」に伴う広報啓発活動について

委員から、110番通報受理件数が多いということは、県民の警察に対する信頼の表れである。限られた人員で緊急又は重要事案へ迅速・的確に対応するためには、相談等の緊急を要しない場合の警察相談専用電話「#9110」の利用など通報窓口について、広く県民等に周知していただきたい旨の発言があった。

(4) 本島全域で連続発生した特殊詐欺事件等の被疑者の検挙について

委員から、特殊詐欺等の犯罪は、次々と新たな犯罪手口が出てきており、被疑者の検挙や被害の未然防止が難しいと感じた。これまでの特殊詐欺等被害防止対策に加え、この種犯罪のターゲットになりやすい高齢者等と犯罪者を結びつけない方法、接触させない方法も検討していただきたい。また、県・各市町村等の行政機関や民間企業とも連携して、継続した被害防止対策を進めていただきたい旨の発言があった。

(5) その他

警察本部から、先日、警察本部内の若手警察官と語る会を行った。県警察の未来を支える若手警察官が、どのような問題意識や考えを持っているのか、率直な意見を聞くため、その機会を設けた。その中で、様々な建設的意見を持っていることに心強く感じたし、また、女性警察官が結婚・出産に関することや仕事との両立について不安を抱えていることの切実さなどを実感した。これまでも「働き方改革」等、様々な取組を行っているところであるが、今後も広く県警察職員の声に耳を傾け、

より良い警察業務の運営に向けて取り組んでまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 沖縄県警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例（案）について
- ・ 犯罪被害者給付金の裁定について
- ・ 裁決書の裁定について

(2) 生活安全部

- ・ 沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例（案）について

(3) 交通部

- ・ 沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例（案）について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(4) 警備部

- ・ 警備情勢について